

対人援助職の信念対立を 解決するには？

～コネクション・プラクティスを使って～

コネクション・プラクティスとは…米国のリタ・マリー・ジョンソンにより創られた、「共感」(※1)と「洞察」(※2)を合体させた「つながりのスキル」

※1.NVC(Nonviolent Communication:非暴力コミュニケーション)米国の心理学者マーシャル・ローゼンバーグ博士により体系づけられた。「感情」と「ニーズ」に意識的につながる。

※2.米国のハートマスの研究所の「クイック・コヒーランス・テクニック」に基づいた「ハート/脳・洞察」によって導かれる。



2019年7月20日 土

時間：14:00から17:00

場所：なじみギャラリー 徳島市吉野本町6-42 コレティブハウスなじみ1F

対象：どなたでも参加自由です。20名(先着順)

「あの人(の方法)は間違っている。」「私(の方法)が正しい。」「こうすべきだ。」これらの言葉を聞いて、ハッとした人がどのくらいいるでしょう？ 私たちの日常生活でよく耳にする言葉たちです。実は、このように判断した瞬間に対立が生まれ、相手とのつながりが失われているのです。そして、「あの人は、どうして分かってくれないのだろう？」と悲しく感じたり、落ち込んだり、腹を立てたり、自分や相手を非難するようになります。善悪、良い悪い、正しい間違っている、などの判断をすることによって自分自身や人を裁くことになり、お互いを非難し合い、お互いが傷つき、関係性が途切れ、分断や混乱が生まれてしまいます。今までとは異なる方法で、自分も相手も大切にしながら、つながりを取り戻していきませんか？今回、その助けになるコネクションプラクティスによるスキルをお伝えし、一緒に実践したいと思います。

■ 高木 真美

【略歴】

平成16年3月 大阪医科大学卒業
平成16年5月 大阪府済生会中津病院 初期臨床研修
平成18年4月 同 消化器内科
平成23年4月 同 総合健診センター(非常勤嘱託医)
平成26年2月 医療法人ゆうの森 たんぼほクリニック(愛媛県)
平成28年2月 同 退職
病氣療養を経て
平成29年7月 社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院
在宅医療部(非常勤医)
平成30年7月 社会医療法人愛仁会 千船病院附属千船クリニック
訪問診療部(非常勤医)

【資格】

日本内科学会 認定内科医
日本消化器病学会 専門医
日本消化器内視鏡学会 専門医
コネクション・プラクティス認定トレーナー ラスール
臨床分子栄養医学研究会 認定医

コネクション・プラクティスにより期待できる効果

- 人の気持ちと感情にうまく付き合いたい ●人との対立やすれ違いを解消したい
- 立ち直る力やしなやかさが欲しい ●創造性を高めたり、発揮するための方法を知りたい
- 問題が起こった時に、責めたり、怒ったり、脅かしたり、責任を追及する以外の効果的な方法を知りたい ●人に本当に受け取って欲しい大切な気持ちを伝えたり、受け取る力が欲しい ●人間関係をもっとうまくやるための簡単に具体的な方法を知りたい
- 思いやりや愛に基づいて生きたい

■ 進行役

おおた在宅クリニック 院長 太田 敦
愛知県出身。大学卒業後一般企業勤務。
徳島大学医学部卒業。徳島健生病院初期
研修。京都家庭医療学センター家庭医後
期研修。岡山家庭医療センター勤務。愛媛
県松山市たんぼほクリニック勤務。2018
年10月より、おおた在宅クリニックを徳島
市吉野本町に開業、現在に到る。



*駐車場スペースに限りがございますので、できるだけ
お乗り合わせの上お越しください。

企画／ おおた在宅クリニック

Ota Home Care Clinic

お問い合わせ Tel 088-656-3001
Fax 088-603-8227
www.ota-hc-clinic.com

